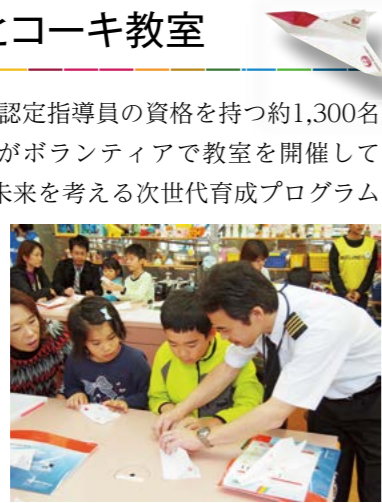


# 新しい時代のために、JALができること

## JAL折り紙ヒコーキ教室

折り紙ヒコーキ協会認定指導員の資格を持つ約1,300名のJALグループ社員がボランティアで教室を開催しています。空を通じて未来を考える次世代育成プログラム「空育®」の一環として行う、JALならではの体験型プログラムです。



## 緊急支援物資輸送

日本の交通インフラとして、大規模災害発生時に救援物資や提携しているNPOに所属するボランティアの現地への移送協力などを行うほか、「災害ボランティア活動支援プロジェクト会議」のメンバーとして、大規模災害発生時に支援を行っています。



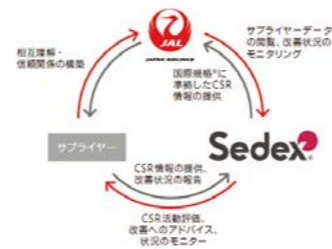
## 大気観測プロジェクト「CONTRAIL」

官民連携の共同研究プロジェクトとして、国際線定期便を使用した上空の大気観測を20年以上継続して実施しています。また観測した温室効果ガスのデータは国立環境研究所を通じて公表され、世界中でさまざまな研究に役立てられています。



## 責任ある調達活動

すべてのお取引先さまに「JALグループサプライヤー行動規範」のご理解・遵守をお願いしています。また、英国に本拠を置く世界最大規模の企業倫理情報プラットフォームSedexを活用し、「取引先さまとの情報共有をさらに客観的に標準化する」、「課題の改善状況モニターを継続して行う」、「連携して課題解決に取り組む持続可能なサプライチェーンの構築を目指す」の3点を着実に実践していきます。



※ 国際規格：ISO 14001、SA 8000、OHSAS 18001、ETI (Ethical Trading Initiative) Base Codeなど

## 機内食などの取り組み

国際的な認証を得たコーヒー豆やシーフードのご提供など、持続可能性に配慮した食材を機内食などで使用しています。



## JAL新・JAPAN PROJECT

日本国内・各地域の皆さまと一緒に、隠れた観光名所や地域の逸品を発掘・商品化し、販売のお手伝いをしています。地域の「観光振興」と「農林水産物の6次産業化」を目的とし、地域の持続的な発展に取り組んでいます。

〈岩手県×浄法寺漆産業×JAL 共同開発〉  
片口と盃セット



## 最適な飛行計画の作成

航空機の整備状況、離着陸重量、気象状況など、あらゆる情報を収集・分析し、最も安全に効率よく運航できるよう、燃料の量を算出し、飛行経路を決め、最適な飛行計画の作成に取り組んでいます。



## アクセシビリティ向上への取り組み

誰もが旅、スポーツ、文化を楽しめる社会の実現を目指し、木製車椅子や小型機搭乗スロープ・ストレッチャーの導入などのハード面の整備とともに、アレルギー対応ツアーやデュアルスキーツアーなどユニバーサルツーリズムを強化し、旅の魅力を発信。お客さまの旅の選択肢を広げる取り組みをしています。



## ダイバーシティ&インクルージョン

2014年にトップコミットメントとして「ダイバーシティ宣言」を発表して以来、女性の活躍推進、グローバル人材の育成、LGBTの理解促進、高齢者の活躍推進、障がい者雇用に取り組んでいます。それぞれの能力を発揮することで、これまでにない新たな価値の創造を目指します。



## ECOフライトの取り組み

所定の条件を満たした場合に、従来の階段状の降下ではなく、スロープ状に降下する降下方式を取り入れているほか、着陸後に駐機場へ向かう途中、片側のエンジンを停止することでCO<sub>2</sub>排出を抑えるなど、フライトのさまざまなフェーズで環境負荷軽減施策に取り組んでいます。



社内啓発ポスター

## 客室シェードクローズ

窓の日よけを下ろすことで、日射による機内温度上昇を抑え、エアコン利用時間を短縮。CO<sub>2</sub>排出量の削減に寄与しています。



## エンジン水洗い

飛行により、エンジン内部に空気中の細かなちりなどが蓄積し汚れることで、エンジンの燃費性能が低下するため、定期的にエンジン内部を洗浄し、燃費回復につなげています。

